

## ★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 宮寺庸造 副委員長 鷹岡 亮

幹事 森本容介・中山祐貴 幹事補佐 倉山めぐみ・岡本 勝

◎本研究会は参加費が必要になります。

ISS の技報完全電子化研究会に関する御案内ページ

[https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e\\_gihou.html](https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e_gihou.html)

日時 12月8日(土) 10:00~16:30

会場 長岡技術科学大学講義棟 A 講義室(長岡市上富岡町 1603-1. 上越新幹線:長岡駅下車, バス:長岡駅大手(西)口7番線から技大前行き乗車約30分. <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/access.html> 中平勝子)

議題 教育・学習支援プラットフォームによるデータ活用/一般

1. 民間学童クラブにおける参加者間 SNS の実装と評価 ○白澤美幸・原 沙和・西村三千代(ナツイエ)
2. 人工学級ゲームを用いたプレイヤーへの付和雷同行動がもたらす影響  
○石田勇翼・佐々木秀麻・前田義信(新潟大)
3. 個人適応型ヒント提示・誘導方式によるプログラミング演習授業の支援  
○鈴木孝幸・野上裕二・納富一宏(神奈川工科大)
4. 実践的プログラミング学習支援システムにおけるコーディングシーケンスデータの活用  
○滝本将司・納富一宏(神奈川工科大)

午後(12:50~)

5. 滑車学習支援システムにおける力覚提示機能, 擬似力覚提示機能の比較  
○河野貴範・松原行宏・岡本 勝(広島市大)
6. 読譜時視行動と打鍵行動の関係分析によるピアノ演奏技能推定方法の提案  
○長井貴也・中平勝子・北島宗雄(長岡技科大)
7. 技術体験における感性的親和性を持たせた無線 LAN アクセスポイントの評価  
○坂巻琴子・岩館武寛・高橋晶子・小林秀幸(仙台高専)
8. 中医学情報における DEMATEL 法を用いた証の関係モデルの設計  
○五十嵐 文・高橋滉一・力武克彰・早川吉弘(仙台高専)・関 隆志(東北大)・高橋晶子(仙台高専)
9. 授業紹介モジュールのポートフォリオ機能とソーシャルメディアとの連携の試み 飯高敏和(熊本学園大)
10. The Prospects of Learning Analytics for Higher Education in developing countries—A case of Kabul Polytechnic University, Afghanistan— ○Hamidullah Sokout・Otgontsetseg Sukhbaatar(Kumamoto Univ.)・Niaz Mohammad Ramaki(Kabul Polytechnic Univ.)・Tsuyoshi Usagawa(Kumamoto Univ.)
11. Moodle が発する学習データ分析の一考察—STEM教育における e-Learning—  
○亀田真澄(山口東京理科大)・宇田川 暢(新潟大)
12. 電子リーダーによる読書中断再開時の支援  
○斉藤健士郎・川嶋稔夫(公立はこだて未来大)・小林潤平(大日本印刷)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

☆ET 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

2019年1月26日(土) 関西大梅田キャンパス [締切済] テーマ:身体知・スキル教育/一般

3月15日(金) 鳴門教育大 [1月12日(土)] テーマ:IoTと教育・学習支援/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<https://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

森本容介(放送大)

E-mail: morimoto@ouj.ac.jp

◎第1著者として, 1回の研究会で1件まで発表できます。

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には, 自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めておりませんので御注意下さい。

◎原稿は, 4ページ, または6ページで作成して下さい。

◎本研究会の取り組みについては, ET 研究会ホームページ (<http://www.ieice.org/iss/et/>) も御覧下さい。